

科学研究費助成事業（特別推進研究）研究進捗評価

課題番号	22000005	研究期間	平成22年度～平成26年度
研究課題名	赤外線新技術による太陽系外惑星研究の展開		
研究代表者名 (所属・職)	田村 元秀（東京大学・大学院理学系研究科・教授）		

【平成25年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

本研究には二つの目的がある。

一つは現在稼働中の観測装置を用いた、恒星近傍に存在する系外惑星及び原始惑星系円盤の「直接撮像」による検出である。

もう一つは、赤外線波長域でのドップラー観測装置を開発し、生命の存在可能な地球型系外惑星の検出を目指すことである。

前者においては、既に幾つもの検出に成功し、世界をリードする研究成果を着実に出しており、高く評価できる。

後者についても、世界最高精度の赤外線分光器(IRD)開発の目途は、ほぼついており、今後の研究の発展が期待できることから、本研究は順調に進展していると判断される。今後も、世界を牽引する研究成果が出ることを期待される。